

山形市高齢者保健福祉計画(第9期介護保険事業計画) 令和7年度 評価結果

I 数値目標等の進捗状況及び評価

※評価 A:80%以上達成、B:79-60%達成、
C:59-30%達成、D:29%以下

1 計画の目標

(1) 全体の目標(実績値が、目標値に到達…A、推計値に到達…B、推計値に未達…C)

健康に生活している高齢者の割合	評価結果	前年度	「資料5-2」該当スライド
R7実績 目標値 推計値 82.9% / 83.2% 、83.0%	C	C	スライド3

(2) ビジョンの目標

得点 及び 満点に対する割合	評価結果	前年度	「資料5-2」該当スライド
260 / 350点 74.3%	B	B	スライド4~16

(3) 給付費適正化の取組目標

得点 及び 満点に対する割合	評価結果	前年度	「資料5-2」該当スライド
50 / 50点 100.0%	A	A	スライド17~18

(補足等) 全体の目標は、令和5年度の実績値の維持を目標としたものである。認定率は緩やかに上昇したが、その主な要因は要支援認定者の増加である。一方、要介護3以上の認定者は減少しており、介護予防等の取組により重度化防止が図られていると考えられる。

II 介護給付費等対象サービスの種類ごとの量の見込みの進捗及び評価

(乖離差を評価)

1 要介護(要支援)認定者数の推移

得点 及び 満点に対する割合	評価結果	前年度	「資料5-2」該当スライド
50 / 60点 83.3%	A	A	スライド19

2 介護給付費等総額の推移

得点 及び 満点に対する割合	評価結果	前年度	「資料5-2」該当スライド
20 / 30点 66.7%	B	B	スライド20

(補足等) 計画策定時の見込みと比べて、要支援認定者数が大きく増加したことに伴い、予防給付に係る在宅サービス費が計画値を上回るなど、一部サービス費において乖離が生じたが、全体としては、保険給付費等の増加は抑制され、計画値以内に抑えられている。

III 一般介護予防事業評価事業定量的指標評価項目の進捗状況及び評価

1 総合事業(全体)

得点 及び 満点に対する割合	評価結果	前年度	「資料5-2」該当スライド
104 / 110点 94.5%	A	A	スライド21~28

2 総合事業(介護予防・生活支援サービス事業)

得点 及び 満点に対する割合	評価結果	前年度	「資料5-2」該当スライド
70 / 70点 100.0%	A	A	スライド29~32

3 総合事業(一般介護予防事業)

得点 及び 満点に対する割合	評価結果	前年度	「資料5-2」該当スライド
107 / 110点 97.3%	A	A	スライド33~36

(補足等) 事業や実施体制に関しては概ね良好に機能している一方、今後の課題として、総合事業(全体)では庁内連携の施策化や担い手の確保、介護予防・生活支援サービス事業ではサービス終了後の支援体制づくり、一般介護予防事業ではデータの分析・活用や通いの場の新規立上げが挙げられており、社会参加による介護予防の効果を高める事業への再構築を進めている。

IV 【参考】施策の進捗状況(インセンティブ交付金の評価指標)

得点 及び 満点に対する割合	前年度	「資料5-2」該当スライド
379 / 380点 99.7%	379/380	スライド37~46